学校HP(ホームページ)

学校だより

たぶの木

令和8年 6月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数 234名

楽しいことも、苦しいことも

～ 大切な成長の糧 ～

校長　加藤　研一郎

６月に入り、梅雨入りしたかと思った矢先の台風襲来で今年度初の臨時休校となりました。翌日からの宿泊学習は何とか予定通りに実施でき、ほっとすることでした。１日目はキャンプファイヤーまでしっかりできたのですが、２日目は、雨の中での野外炊飯となり、とても大変だったようでした。しかし、学校に帰り着いた子供たちは、疲れた様子は浮かべながらも充実感を漂わせる顔つきの子供たちでした。雨の中での体験活動も貴重な経験であることも含め、いろいろなことにがんばったことをねぎらうとともに、この経験等を糧に成長していく姿を楽しみにしていることなどを話しました。私の話に小さくうなずきながら視線を向けて聞く５年生の姿にたくましさや頼もしさを感じることでした。１ 学期の様々な学習や行事、活動を通して一段、また一段と成長の階段を上がっていく子供たちです。

さて、１学期もまとめに入る時期に来ました。先日は水泳学習参観と学級ＰＴＡがあり、お忙しい中、天候の悪い中にも関わらず、ご参観・ご出席いただき、誠にありがとうございました。学級ＰＴＡでは、委員長さんの司会進行のもと、担任による１学期の振り返りの後に、「我が家の家族時間」をテーマに語り合っていただきました。いかがだったでしょうか。家庭によって様々な時間の過ごし方があったことと思います。ぜひ、これからの、夏休みの、家族時間の過ごし方の参考にしていただけたら幸いです。

なお、ＰＴＡの際に担任から説明もあったかと思いますが、今年度から通知表による評価等については年２回（１回目は１０月に渡します）となります。１学期の締めくくりをじっくり行い、それぞれの夏休みの課題を見付け、計画を立ててほしいと思います。ご家庭でのお声かけ・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

＜７月行事予定＞　　※ 変更になる場合があります。ご了承ください。

１日(水)	着衣水泳(2年･3年･5年)	16日(木)	ハッピースマイルデー
２日(木)	着衣水泳(1年･4年･6年)	17日(金)	終業式
３日(金)	プール掃除(4年)	20日(月)	(祝)海の日
	スクールカウンセラー来校	22日(水)	水泳記録会練習(6年)
９日(木)	計画学校訪問	23日(木)	水泳記録会練習(6年)
14日(火)	県民の日､かごしまジュニア検定(5･6年)	27日(月)	水泳記録会練習(6年)
15日(水)	民生委員･児童委員と語る会､PTA運営委員会	28日(火)	市水泳記録会(6年)

土曜参観

～親子一緒に登下校、親子活動、引き渡し訓練～

６月１３日は，今年度唯一の土曜授業日で土曜参観を実施しました。親子で一緒に登校する姿も見られ、子どもたちもうれしそうでした。

授業参観では親子活動を取り入れ，クラスや学年の交流の場になりました。３校時は、大雨や台風等の水害に備えて、引き渡し訓練を行いました。昨年は、全校児童を体育館に集めて行いましたが、今年は各教室にいるお子さんを迎えに行っていただく方法をとりました。特に混乱もなくスムースに進めることができました。ありがとうございました。

子どもたちを危険・災害から守る

登下校中の事故、学校での火災、地震や大雨等の自然災害、常に「もしも」を考えて心の準備をしておかなくてはいけません。さらに、毎年行われる各種検診の結果から自分の身体の状況について理解し、悪化しないように普段の生活を考え直すことも大切です。

そのようなことを踏まえて、学校では毎年、早い時期に各種訓練や健康診断、保健指導を行っております。月に実施した交通安全教室や防犯教室、今月は地震火災の避難訓練や引き渡し訓練を行いました。１年生は小学校では初めてとなり、６年生は６回目ということになります。毎年実施することで「いざ」というときに「どう行動すればよいか。」身に付けることができます。何事も積み重ねることが経験になります。

さて、先日、学校保健委員会で学校歯科医の山内先生がむし歯の治療と予防の大切さについてお話してくださいました。また、４年生は歯みがき大会に参加して正しい歯の磨き方を学びました。ただし、子供たちの力には限界があります。既にむし歯になっている場合は、保護者が治療に連れて行ってくださらなければ決して改善することはありません。ぜひ、治療が必要な場合は、早めに受診させてあげてください。

6/12 歯みがき大会

6/10 避難訓練

6/10 学校保健委員会

不登校を考える週間

～学びの場は様々～

全国的に不登校が増えつつあります。不登校の原因は様々です。「学校に行かなくてはいけない。」という考え方は近年変わってきました。子供たちが悩みを相談できる窓口（スクールカウンセラーの定期的な来校）が増え、学校もその子の悩みに合わせた対応をするようにしています。また、学ぶ場所についても変わってきています。子供たちに配られたタブレット端末とネット環境さえあれば、自宅にいながら授業に参加できます。学校以外にも市内各所にあるフレンドシップやフリースクールで自分に合った学びを行うことができます。さらには、ネット（仮想空間）を利用した「フレンドステップ・メタバース」もあります。 →

このように、子供たちの学びの場を様々な形で対応できるようになってきました。